

PEATLAND (泥炭地) 12のポイント

ラムサール・ネットワーク日本 永井光弘

※ 出典”Peatland Atlas 2023 Heinrich-Boll-Stiftung & others”

1. 泥炭地 (peatland) (以下 P L) はどの大陸にもある。水に浸かった土の中に蓄積された泥炭 (peat) の層がポイント。
 - ・健全な湿地 mire / 泥炭があれば (湿っているか否かを問わず) peatland
 - ・種類 高層湿原 (bog) / 低層湿原 (fen)
 - ・場所 高緯度: 永久凍土 / 亜寒帯・温帯: 湿原、塩性湿地等 / 熱帯: 熱帯雨林等
 - ・P L は全世界で約 5 億 (500million) ha 日本国土の 13 倍、韓国国土の 50 倍
2. P L は地球の陸地の 3 % しかないが、世界の森林全部 (陸地の 27%) の 2 倍の炭素を貯留。
 - ・全世界で 6000 億トン (600billion) の炭素を貯留
3. P L は生成する 10 倍のスピードで失われている。人類により毎年 50 万ヘクタールのPEATLANDが破壊されており、健全な P L は緊急に保全する必要がある。
 - ・既に 5000 万 (50million) ha は破壊 (もはやPEAT形成できず)
 - 日本の 1.3 倍、韓国の 5 倍
 - ・毎年 50 万 ha は日本国土の 1.3% (韓国 5%) →千葉県 1 個分、京畿道の半分。
4. 自然で水に浸かった P L は多くの温室効果ガスを大気から取り込み、泥炭として炭素を貯留している。しかし、これが破壊されれば、大量の CO₂ を排出することとなり気候にダメージを与える。
 - ・排水された P L からは毎年 20 億 (2 billion) トン CO₂e が排出
 - = 世界中の航空機からの排出の 2 倍
5. 世界中でPEATLANDから排水 (drain) がされ、多くの部分は農業に利用されている。EUではすべての P L の 1/4 は排水されて、主として牧畜に利用されている。
 - ・インドネシアが最大の排水 P L からの CO₂ 排出、ヨーロッパが 2 番目。
 - ・排水された P L からは、EUの温室効果ガスの 5% が排出
6. P L は水循環に大切な役割を担う。水を濾過し、水を蓄え、干ばつや洪水を緩和する。気候危機は P L を乾燥させ、多くの CO₂ を排出する泥炭火災の危険を高める。

- ・泥炭火災 (peat fire) → 5 億~10 億トン CO₂e の温室効果ガス排出
大気汚染もひどく 2015 年の火災でインドネシアでは 10 万人死亡、50 万人以上が急性呼吸器疾患。400 億ユーロの経済損失。

7. PL は、絶滅の危惧に瀕する植物や動物の生息地となっている。人による農業のための排水と森林伐採がいちばんの脅威である。

- ・生物多様性 例：コンゴの Cuvette Central Peatland (近時発見の PL)
- ・排水された PL (除く熱帯) の 50% は農業、特に牧草地に使用。20-50 t /ha/Yr
- ・PL の 3%、約 1500ha がプランテーションか林業のため排水された。フィンランドでは健全な PL は 86% (1950) → 31% (2015)、CO₂ 貯留は 9000 万トン減。

8. パリ条約の目標を達成するためには、ヨーロッパで 100 万 (EU のみで 50 万)、全世界で 200 万ヘクタールの PL を毎年最湿潤化 (rewetting) することが必要。

- ・最湿潤化は不可欠だが、それでも完全な PL には及ばない (植生回復 60%)
- ・EU では、12 万 ha (排水した PL の 1% 弱) を再湿潤化したがるが全く足りない。
(例、ドイツでは 5 万 ha 必要なのに 2000ha のみ)
- ・再湿潤化は、農業や林業に使用されている土地を変化させるので、正しい湿潤知識に裏打ちされた「強い政治的意思」が必要。

9. 農業をあきらめなくても、排水された PL からの CO₂ 排出は大幅に減らすことができる。地下水レベルを上げ、葦を育て、水牛を育てるようなパルディカルチャー (Paludiculture) へ転換することがその方法。

- ・ドイツでは、葦 (屋根材、ペレット) の 85% は中国等から輸入、116 万ユーロの市場。ドイツでパルディカルチャーを行えば、2 万キロの距離を輸送船で運ぶ 300 トン/日の重油も節約できる

10. 何百年にわたって泥炭は主として燃料として利用されてきた。現在は、主として園芸の鉢植土として利用されており、もっとエコな代替物への転換を強く進めるべき。

11. 何百年にわたって PL は破壊されてきた。私たちは、生物多様性と気候危機緩和のための「水に浸かった (wet) PL」の価値をもっと理解する必要がある。

12. 世界のいたる所に樹木に覆われた泥炭地がある。ヨーロッパのハンノキ湿地、熱帯の熱帯雨林等。大量の CO₂ を貯留しており、なんとしても保全や再生すべきだ。

以上